

平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日系人等を活用した日本語教室の設置運営】

東海 中国人のための日本語教室

内容報告書

岐阜日中交流促進会

平成21年3月31日

平成20年11月4日～平成21年3月31日において、岐阜日中交流促進会は、平成20年11月4日付け平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業【日系人等を活用した日本語教室の設置運営】を実施しました。

本事業の内容を次のとおりに報告します。

一、教育事業名

東海 中国人のための日本語教室（平成20年度）

二、実施状況

1、実施期間及び授業時間数

平成20年11月4日～平成21年3月31日 全18回

初級クラスと中級クラスそれぞれ36時間、計72時間を実施しました。

2、実施場所

- 1) 岐阜市中央青少年会館（岐阜市京町3丁目19番地）
- 2) 岐阜県県民ふれあい会館（岐阜市藪田南5丁目14番53号）



写真－1 岐阜市中央青少年会館



写真－2 岐阜県県民ふれあい会館

授業の様子を写真－3～写真－6に示します。

また、実施状況の一覧を表－1に示します。



写真－3 授業の様子（初級クラス）



写真－4 授業の様子（初級クラス）



写真－５ 授業の様子（中級クラス）



写真－６ 授業の様子（中級クラス）

表－１ 実施状況の一覧表

回数	実施日時	実施場所
1	2008/11/23 (日)	岐阜県県民ふれあい会館
2	2008/11/30 (日)	岐阜県県民ふれあい会館
3	2008/12/07 (日)	岐阜市中央青少年会館
4	2008/12/21 (日)	岐阜県県民ふれあい会館
5	2008/12/27 (土)	岐阜市中央青少年会館
6	2008/12/28 (日)	岐阜市中央青少年会館
7	2009/01/04 (日)	岐阜市中央青少年会館
8	2009/01/11 (日)	岐阜市中央青少年会館
9	2009/01/18 (日)	岐阜県県民ふれあい会館
10	2009/01/25 (日)	岐阜市中央青少年会館
11	2009/02/01 (日)	岐阜市中央青少年会館
12	2009/02/08 (日)	岐阜県県民ふれあい会館
13	2009/02/22 (日)	岐阜市中央青少年会館
14	2009/03/01 (日)	岐阜県県民ふれあい会館
15	2009/03/08 (日)	岐阜市中央青少年会館
16	2009/03/15 (日)	岐阜県県民ふれあい会館
17	2009/03/22 (日)	岐阜市中央青少年会館
18	2009/03/29 (日)	岐阜市中央青少年会館

三、受講者状況

受講者数は合計76人（初級クラス56人、中級クラス20人）でした。

登録票の記入内容（第1回目授業 2008年11月23日）に基づき受講者状況をまとめました。受講者の構成を【付録資料1】の表-3、図-1～図-5に示します。

資料では、年齢別で20～30代の人が多く、若い年齢層が日本語学習の主力となることが分かります。

また、来日期間別では、1年以上の人が大半を占めています。しかし、別途行った入学テストの成績を見ると、その多くはまだ初心者レベルで、基礎から勉強する必要があることが分かります。

本教室は、特に日本語能力が低い受講者に母国語での説明を加えた「母国語による日本語教育の普及と効果の向上」を試したものであり、受講者の基本データは、このような取り組みの必要性・妥当性を証明し、今後の日本語教育の方向性を示したと考えられます。

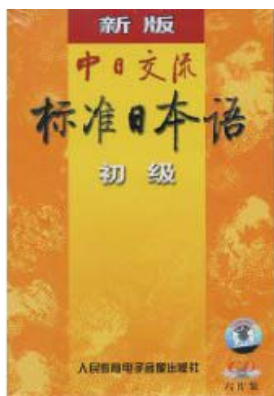
四、教育内容の概要

1、初級クラス

- ① 基本教材《中日交流 標準日本語》（読む、聞く、話す、書く）・・・写真－6
- ② 基本教材《みんなの日本語》初級 I （読む、聞く、話す、書く）・・・写真－7
- ③ 緊急時対応 緊急電話の掛け方、病院受診用語等
- ④ 簡単な就職面接対応 一般的に聞かれる質問、回答例等
- ⑤ 日本の正月文化、習慣等について
- ⑥ 岐阜市生活ガイドについて（ごみ、保険、年金、保健、教育、医療、ビザ等）・・・写真－8

2、中級クラス

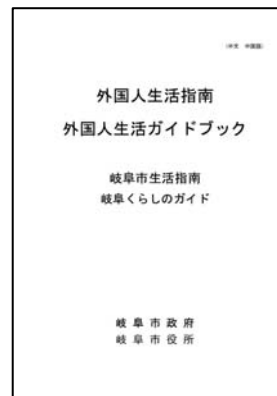
- ① 基本教材《みんなの日本語》初級 I 第 1 5 課～（読む、聞く、話す、書く）・・・写真－7
- ② 基本教材《みんなの日本語》標準問題集 I （回答、解説）
- ③ 緊急時対応 緊急電話のかけかた、病院受診用語等
- ④ 簡単な就職面接対応 一般的に聞かれる質問、回答例等
- ⑤ 職場よく聞く表現、よく使う表現等
- ⑥ 岐阜市生活ガイドについて（ごみ、保険、年金、保健、教育、医療、ビザ等）・・・写真－8



写真－6 基本教材
《中日交流 標準日本語》



写真－7 基本教材
《みんなの日本語》



写真－8 補助教材
《岐阜市くらしのガイド》

各回の教育内容の一覧を表－2に示します。

回数	開催日	教育内容
----	-----	------

表－2 教育内容の一覧表

①	2008年11月23日(日)	初級	日本語能力確認テスト、*初級I第1課、挨拶常識
		中級	日本語能力確認テスト、*初級I第15課
②	2008年11月30日(日)	初級	*標日第1課、*初級I第1課
		中級	テスト答案説明確認、*初級I第15課
③	2008年12月7日(日)	初級	*初級I第1課、緊急時電話のかけ方
		中級	*初級I第16課、標準問題集、緊急時電話のかけ方
④	2008年12月21日(日)	初級	*標日第2、3課、*初級I第2課、岐阜市生活ガイド
		中級	*初級I第16課、岐阜市生活ガイド
⑤	2008年12月27日(土)	初級	*標日第4、5課、*初級I第2課、年賀状の常識
		中級	*初級I第17課、標準問題集、年賀状の常識
⑥	2008年12月28日(日)	初級	*標日第6課、*初級I第3課、正月常識
		中級	*初級I第17課、正月常識
⑦	2009年1月4日(日)	初級	*初級I第3課、標準問題集、
		中級	*初級I第18課、標準問題集、
⑧	2009年1月11日(日)	初級	*標日第7課、*初級I第4課、岐阜市生活ガイド
		中級	*初級I第18課、岐阜市生活ガイド
⑨	2009年1月18日(日)	初級	*初級I第4課、岐阜市生活ガイド
		中級	*初級I第19課、標準問題集
⑩	2009年1月25日(日)	初級	*標日第8課、簡単仕事面接用語
		中級	*初級I第19課、仕事面接用語
⑪	2009年2月1日(日)	初級	*標日第9課、*初級I第5課、失職者への援助について
		中級	*初級I第19課、標準問題集、失職者への援助について
⑫	2009年2月8日(日)	初級	*初級I第5課、標準問題集
		中級	*初級I第19課、日常約束会話
⑬	2009年2月22日(日)	初級	*標日第10課、日常約束会話
		中級	*初級I第19課、標準問題集
⑭	2009年3月1日(日)	初級	*標日第11課、*初級I第6課、
		中級	*初級I第20課、日本語の曖昧さ
⑮	2009年3月8日(日)	初級	*標日第12課、病院受診用語、日本語の曖昧さ
		中級	*初級I第20課、病院受診用語、
⑯	2009年3月15日(日)	初級	*初級I第6課、常用職場用語
		中級	*初級I第21課、常用職場用語
⑰	2009年3月22日(日)	初級	*初級I第7課、標準問題集
		中級	*初級I第21課、常用職場用語
⑱	2009年3月29日(日)	初級	期末テスト
		中級	期末テスト

* :基本教材《みんなの日本語》、 ☆「標日」:基本教材《日中交流 標準日本語》初級

五、教育事業の運営

本教育事業の運営に当って、岐阜日中交流促進会のメンバー及び外部の有識者により運営委員会を設立し、事業期間中に計4回の運営会議を開催しました。

【第1回運営会議】

開催日時： 平成20年11月9日（日）

- 会議内容： ○ 報告事項
- ・ 審査結果報告
 - ・ 担当者及び講師の選任について
- 第1号議案 講座の進め方について
- 第2号議案 教室会場の選定について
- 第3号議案 広告・募集方法について

【第2回運営会議】

開催日時： 平成20年11月23日（日）

- 会議内容： ○ 報告事項
- ・ 受講者申込み、出席状況
 - ・ 受講者の構成
- 第4号議案 各クラスの定員について
- 第5号議案 受講者へのフォローについて（交通、教材資料、連絡等）

【第3回運営会議】

開催日時： 平成21年1月24日（土）

- 会議内容： ○ 報告事項
- ・ 現状報告
- 第6号議案 授業内容の要望及び調整について
- 第7号議案 受講者の失職に伴う欠席現状について

【第4回運営会議】

開催日時： 平成21年3月29日（日）

- 会議内容： ○ 報告事項
- ・ 全体の実施状況の報告
 - ・ 担当者及び講師の選任について（結果報告）
- 第8号議案 事業報告について
- 第9号議案 収支決算について
- 第10号議案 次期の申請について

注) 会議内容、参加者など会議の詳細は、別途委託業務完了報告書及び議事録を参照します。

六、事業内容の総括

1、趣旨

外国人が増え続けている日本の社会においては、多文化共生社会の推進を重要課題として取り組んでいます。その中には、日本語教育は特に緊急性の高い課題であります。地域生活者として必要な日本語を習得し、多文化共生社会作りに寄与します。

法務省入国管理局の統計データ（平成20年6月発表）によると、人口が全国で17位の岐阜県には、外国人登録者数は、静岡県の上に全国で9番目に多い。岐阜市には、約9100人の外国人が住んでいますが、その中の約半分が中国籍住民であり、また、中国系住民（日本国籍を持つ）と合わせると、中国語を母国語とする日本語学習者数が更に増えます。

この中、中国出身の技能研修・実習生、日本人配偶者、中国残留孤児の親族などの多くは、日本語によるコミュニケーション能力が不十分であります。文化・習慣の相違に加え、地域社会において様々な不便、トラブルを引き起こしうるのが現状です。また、日本語勉強の中で、初心者の中には元々受けた母国語の教育レベルが高くとは言えないため、母国語により分かりやすい授業方式が求められています。

このような社会的なニーズ及び地域の状況を踏まえ、岐阜日中交流促進会では、地域の多文化共生社会の構築に向けた社会的責任及び日中交流促進事業の一環として、岐阜市及びその周辺地域に在住する中国系住民を対象に、「東海 中国人のための日本語教室」（平成20年度）を開きました。

2、実施概要

本教室は、平成20年11月から平成21年3月末にかけて、初級と中級の2クラスに分けて、主に日曜日の午後各2時間ずつ、全18回の講義を実施し、平成20年度の事業が終了しました。受講者数は初級クラスが56名、中級クラスが20名でした。

3、本教室の特徴

1) 地域特色の明確

本教室は、岐阜市及び周辺地域の中国系住民を対象としており、中国語と日本語の特徴を対照しながら、日本語の学ぶコツを教授すると同時に、岐阜地域での日常生活を想定しながら授業内容を構成し、地域特色を明確にした日本語教育事業であります。

2) 授業方式の工夫

授業は、主に中国人の講師が中国語で行うことで、「中国人により中国人のための日本語教育」という親切感を前面に打ち出し、より多くの学習初心者が気軽に参加できることを図り、日本語教育の普及ならびに教育効果の向上を独自に工夫した日本語教育事業であります。

4、授業の工夫と改善

本教室を計画・実施する際、以下のような工夫と改善を取り組みました。

多文化共生の社会的背景が進展する中で、外国人向けの日本語教育では、単なる言葉を機械的に教えるではなく、異文化コミュニケーション能力の教授も必要と考えられます。これを踏まえ、今回の日本語教室は、中国系住民の日本語学習ニーズに合致するように、教授内容、方式及び運営方法などの工夫を重ねて、効果的な教育を図りました。

具体的には、まず基本教科書を使用して、文型導入、ドリル及び文型練習としてロールプレイを用いました。また、具体的な場面の提示、表現の練習、同じ場面での模擬練習という流れで、日常生活における表現の練習を重視しました。

その中で、異文化接触によるコンフリクトが起こりそうな会話場面では、体験例や説明を加えて、受講者にしっかりと理解させた上で、日本語能力を身につけました。例えば、岐阜地域社会の生活、日本の企業風土、学校生活、友達関係などの常識と非常識等々、日常生活に一番近いことを重視して授業内容を取り組みました。

これらの取り組みを効果的に実施できるように、本教室では、日本語教育の経験が豊富で、中国語による授業できる教師（中国人2人）と、専門の日本語教師（日本人1名）、計教師3名の体制で授業を行いました。教師らは受講者と同一の地域に生活しており、受講者と常に同じ視線を持ち、日常生活に特化した授業内容を構成することにより、受講者にとっては大変理解しやすく内容の濃いものとなりました。

また、4回の運営委員会に日本語教師も全員出席して、授業状況の報告を行って有識者による助言を求め、授業内容の改善に努めました。

5、授業の成果

1) 日本語基本能力の向上

[初級クラス]

《中日交流 標準日本語》第1～12課、《みんなの日本語》初級第1～7課の学習を通じて、受講者が生活日本語の基本を身につく目標が達成しました。本教室の参加をきっかけに本格的に日本語学習を始める受講者が多くいる中、日本語の底力が付けられたことにより、今後の日本語学習の基礎が構築され、継続して学習する動機をつけることができました。

[中級クラス]

《みんなの日本語》初級第15～21課の学習を通じて、受講者の日本語能力を着実に向上させ、自主的に勉強する習慣をつけることができました。日本語能力試験4級レベルの試験を行った結果、中級クラス全員が合格しました。また、1名の受講者は本教室の学習成果を生かし、日本語能力試験2級を挑戦して見事に合格しました。

受講者成績は【付録資料2】を参照します。

2) 日本の文化・習慣の理解と生活日本語の向上

一方、日本の文化・習慣に関連する授業を行った結果、受講者の多くは今回の講座を通して文化面の相違に対する理解を深めることができ、自分が今まで当然だと思い込んだことがそうでなかったり、気付かなかったりすることに目を開かされました。授業後に椅子を整理して帰るなど、公共施設の使用マナーを守る人が増えました。

また、多くの受講者は「正月常識」、「日本語の曖昧さ」の授業に興味を強く示しており、周りの人に対して抱いていた先入観や疑問を解き、いわゆる日本の文化を尊重し理解するようになったと推察します。

なお、「岐阜市くらしのガイド」などを利用した生活日本語の授業では、仕事や生活上の意思疎通を図るための最低限必要となる会話の練習や、生活の中で緊急性のある事柄に対応する防災用語、医療用語といった実践的な内容が求められていることから、日常会話能力を向上させると同時に、防災、医療、就職面接など比較的に専門的な内容も取り入れ、大変好評でした。

5、今後の課題と予定

1) 学習の継続性

受講者の全体は母国語教育レベルが低い傾向があり、学習意欲のバラツキも存在するため、短期間の授業だけでは不十分と感じました。また、本年度事業完了後の受講者アンケート（【付録資料3】を参照）を実施した結果、多くの受講者は継続して学習する意欲があります。今後は、今年度の実施成果を生かし、日本語教室を引き続き実施していきたいと思えます。

2) 教室の時間割

今年度は、日曜日の午後に初級と中級の授業をそれぞれ2時間行いましたが、受講者からは、1回の授業時間が短く、もっと勉強したいとの声がありました。今後の事業計画の際、受講者側の要望を満足するよう授業時間を1時間延長すると考えています。ただし、長時間の学習で集中力が切りやすいことから、学習効果の向上に授業内容・方式をさらに改善する必要があります。

3) 教室の場所

今年度は、予約の関係で教室の会場確保に苦勞しており、結果として2箇所で開催しました。各回の場所を書いた日程表を全員に配りましたが、授業直前に場所の間違いを気づく受講者もいました。2箇所間の移動は自転車で30～45分をかかるため、授業に間に合うように教室運営スタッフは自家用車で送迎することとなりました。また、距離によって片方の会場しか来ない受講者もいましたので、学習効果の確保に問題があります。今後は、受講者の定着と学習効果の確保を図り、教室の実施場所を1箇所に固定するよう計画します。

4) 受講者からの個人相談

通常授業の前後に、受講者から生活や仕事など日本語学習以外の個人質問・相談が多数あり、授業日以外にも電話による相談を受けています。受講者から信頼され、その生活を直接支援できる教育事業の運営は、地域共生社会作りに大きな効果を生み出すと実感しました。今後はこのような個人相談を積極的に受け入れるとともに、外国人問題の専門家からアドバイスをもらい対策を強化していきます。また、共通する相談内容について生活日本語の授業内容に取り入れます。

5) 失職者対策

世界的経済不況の中、本教室を参加した受講者（主に定住者）は、失職など経済的な理由で欠席することが数件ありました。新しい仕事を探すのに時間を使ったため勉強する時間が確保できない人、また、新しい職場に移し転居するため学習を断念する人がいます。対応策として、仕事探し、面接などに使う日本語を授業内容に新たに入れました。今後、地域や職場で孤立しがちな外国系住民が地域生活に溶け込まれるため、安定した雇用の確保が求められています。日本語教育事業として、外国系住民の余暇時間をビジネス日本語の学習に回せるように、受講者同士の人的ネットワークを形成しながら協調学習ができる場を提供することで、外国系住民の自立化促進を図れると考えています。

6) 小中学生対策

受講者に小中学生が数人いました。当初は大人のみを募集しましたが、保護者からの強い要望があり受け入れました。当初計画の予想外なので教授内容を修正できませんでしたが、小中学生は意外に学習定着率が高く、日本語能力の向上も大人より早かった。未成年受講者を含め、幅広い年齢層に対応できるような教材選択や内容編成が必要と感じます。今後、休日に日本語教室での学習と平日に学校での日本語一般教育の整合性を取り、学校と連携して学習効果を向上していきたいと考えています。

7) 地域団体との連携

この度、日本語教室の実施に当たり、岐阜市国際交流協会、岐阜市国際課などから、多くの支援、アドバイスなどをいただきました。今後も地元自治体、国際交流団体と連携をさらに強化し、岐阜市国際交流協会の「日本語で話そう」などの国際交流イベントを共催することなどにより、外国系住民と日本人住民のコミュニケーションを深めていきます。

最後に、このたび、「東海 中国人のための日本語教室」の開催にあたり、ご支援、ご協力していただいた皆様に感謝を申し上げます。

【付録資料】

- 1) 受講者の構成
- 2) 受講者成績のまとめ
- 3) 受講者アンケート実施結果

【付録資料 1】受講者の構成

表-3 受講者構成の一覧表

統計項目		初級クラス	中級クラス
性別	男	30人	4人
	女	26人	16人
年齢	～10代	7人	2人
	20～30代	46人	12人
	40代～	1人	6人
	未記入	2人	0人
学歴	在学中	5人	2人
	中学	28人	5人
	高校	17人	7人
	高校以上	5人	5人
	未記入	1人	1人
来日期間	0.5年未満	6人	0人
	0.5年～1年	13人	3人
	1年以上	36人	17人
	未記入	1人	0人
職業・在留形態	定住者・永住者	41人	13人
	研修生・実習生	15人	6人
	留学生	0人	1人

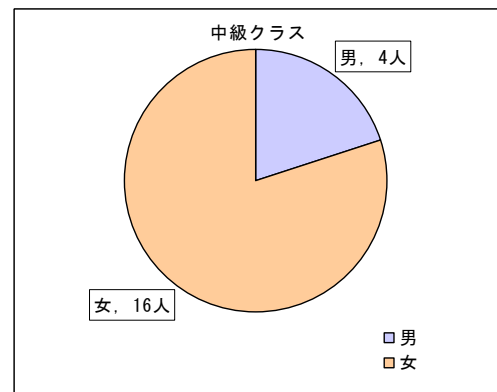
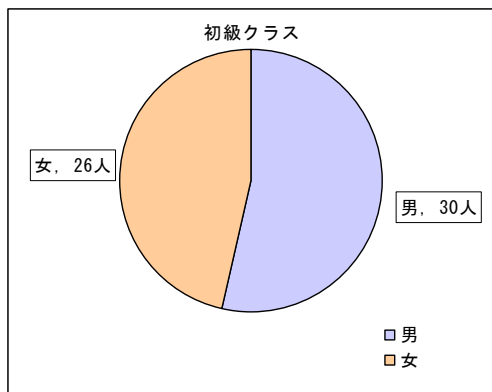


図-1 受講者の性別統計（男女）

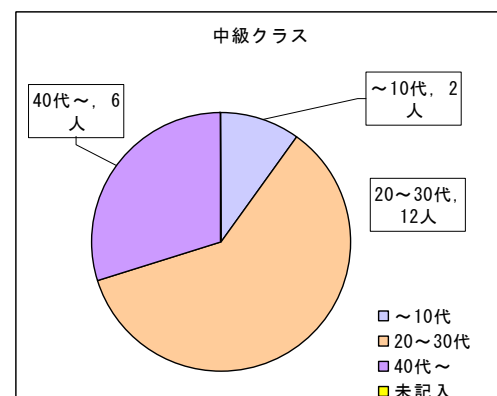
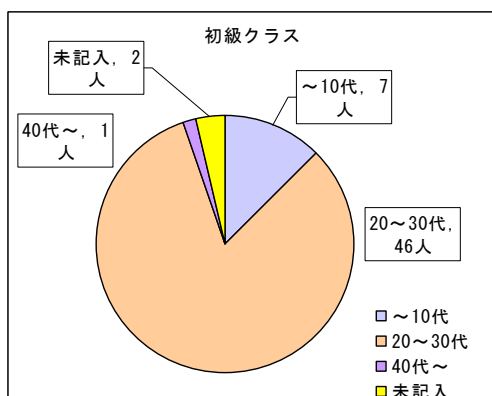


図-2 受講者の年齢層統計

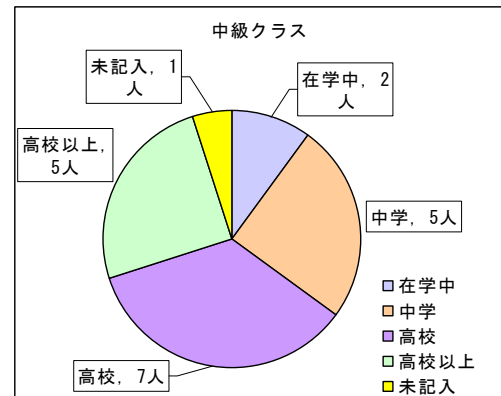
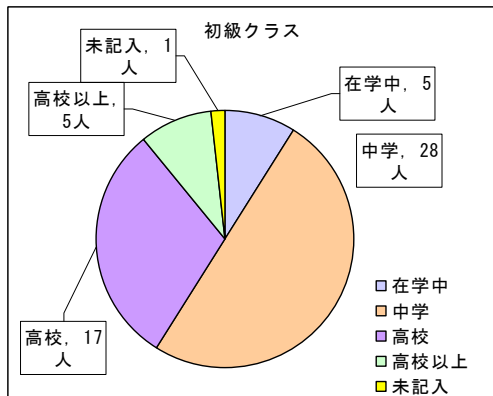


図-3 受講者の教育レベル (最終学歴)

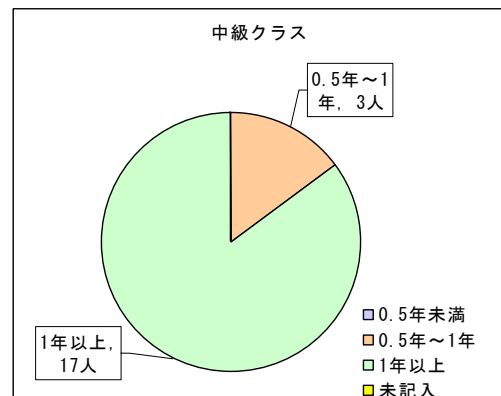
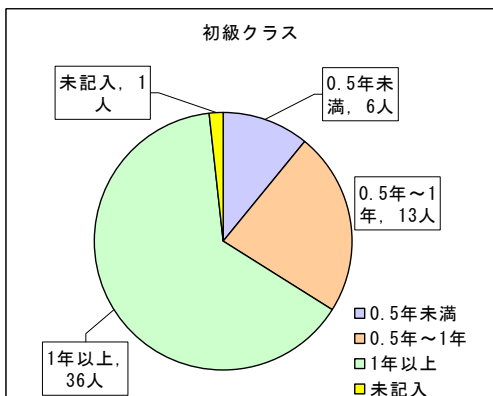


図-4 受講者の来日期間

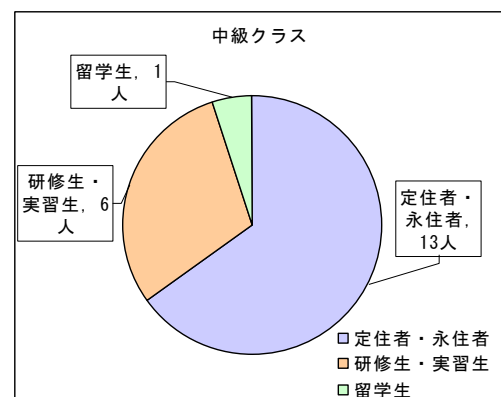
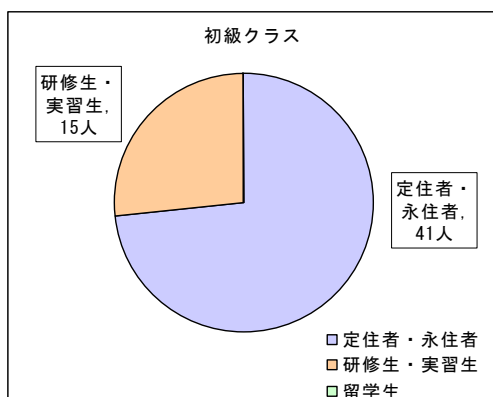


図-5 受講者の職業・在留形態

【付録資料2】受講者成績のまとめ

1) 初級クラス

表-4 初級クラスのテスト成績

統計項目		終了テスト	
初級	～50点	3人	14%
	50点～80点	3人	14%
	80点～	15人	71%

注：初級クラスは初心者を対象とするため、入学テスト成績を統計していない。

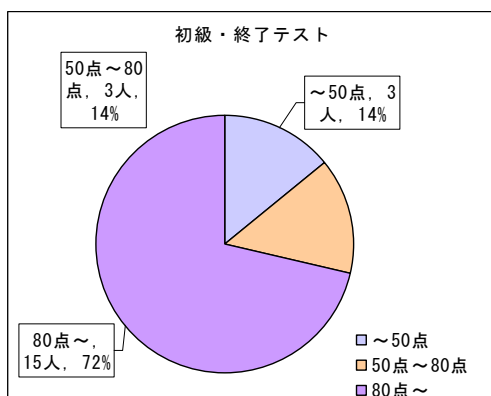


図-6 初級クラスのテスト成績

1) 中級クラス

表-5 中級クラスのテスト成績

統計項目		入学テスト	終了テスト
中級	合格	5人	18人
	不合格	11人	0人

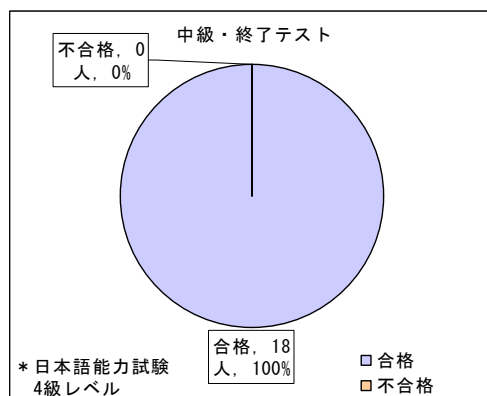
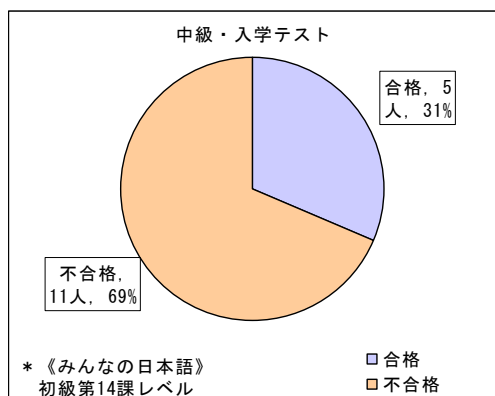


図-7 中級クラスのテスト成績

【付録資料3】受講者アンケート実施結果

2009.3

「東海 中国人のための日本語講座」終了アンケート

岐阜日中交流促進会

この度は、岐阜日中交流促進会の「東海 中国人のための日本語講座」を受講いただき誠にありがとうございました。お手数ですが、以下のアンケートにご協力をお願いします。今後の参考とさせていただきます。

【それぞれの質問について、一番近いと思う答えの番号に○をつけてください。】

1 この講座の感想を教えてください。

- Ⓐ 大変よかった b. よかった c. よくも悪くもなかった
d. あまりよくなかった e. よくなかった

2 講座の内容はよく分かりましたか。

- Ⓐ よく分かった b. だいたい分かった c. あまり分からなかった d. 分からなかった

3 講座の長さはどうでしたか。

- a. 長かった b. ちょうどよい長さだった Ⓒ 短かった

4 このような講座はどの時間だと参加しやすいですか。希望の時間に○をつけてください。

	月(げつ)	火(か)	水(すい)	木(もく)	金(きん)	土(ど)	日(にち)	祝日(しゅくじつ)
午前(9～12時)						○	○	
午後(13～17時)						○	○	
夜間(18～21時)						○	○	○

5 この講座があることを、どうやって知りましたか。

- a. ちらし(手に入れたところ…市役所・ハートフルスクエアG・その他())
Ⓑ 友人や知り合いの人からの紹介
e. その他()

6 この講座に、もっと取り入れてほしい内容は何か。

- Ⓐ 日常会話 Ⓑ 職場会話
Ⓒ 防災用語 Ⓓ 日本語能力試験対応 f. その他 (個人的な生活知識 法律知識)

7 あなたは、今後もこの講座に参加したいと思いますか。

- Ⓐ 参加します b. もう参加しません
c. 参加できなくなります
Ⓒ. 仕事のため Ⓓ. お引越しのため Ⓔ. その他()
d. その他()

8 この講座が、もし有料(一ヶ月千円程度)になったら、あなたはまた参加しますか。

- Ⓐ 参加します b. 参加しません
c. 今は分かりません d. その他(一ヶ月五百円)

9 その他ご要望、ご意見などがありましたら、どうぞご遠慮なく書いてください。

領収書の発行 以対話的形式
日本語講座を継続下去, 我来日本年了, 再这里学习到了很多的知识感谢
日本政府给我这么好机会, 我真心的希望这个讲座能继续下去。
お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。

図-8 アンケート調査の受講者記入例

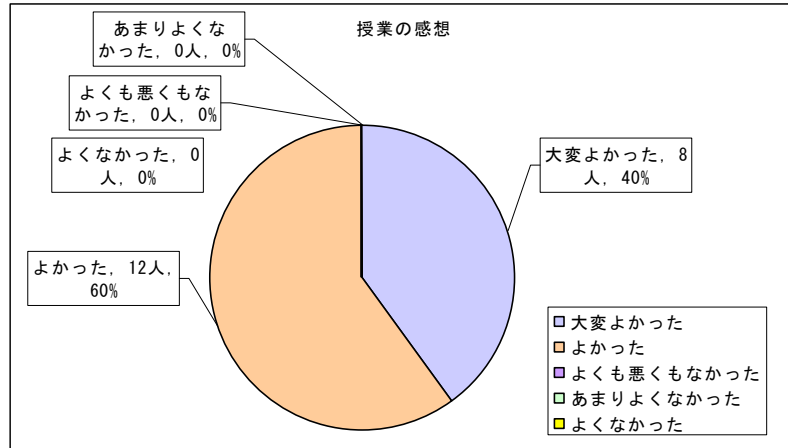


図-9 授業の感想

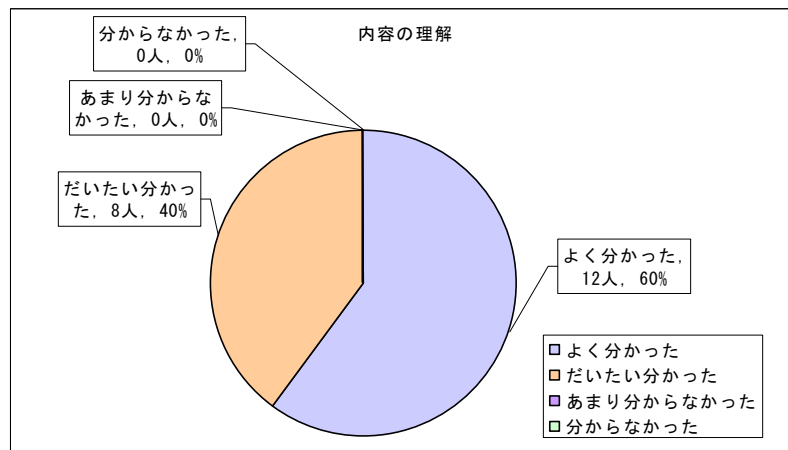


図-10 内容の理解

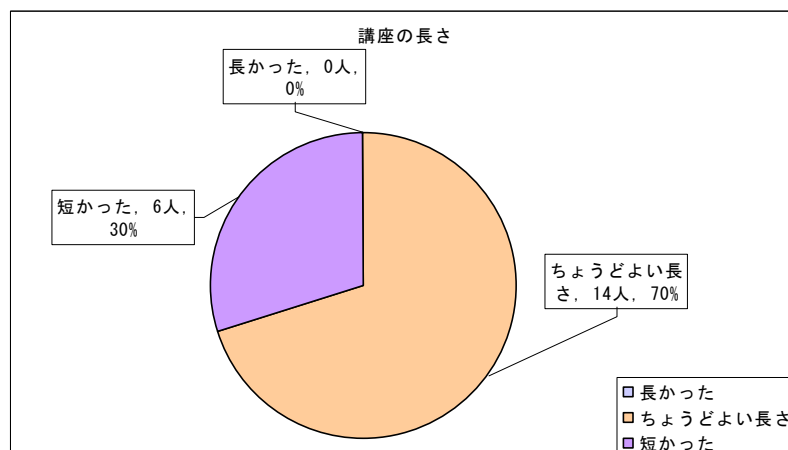


図-11 講座の長さ

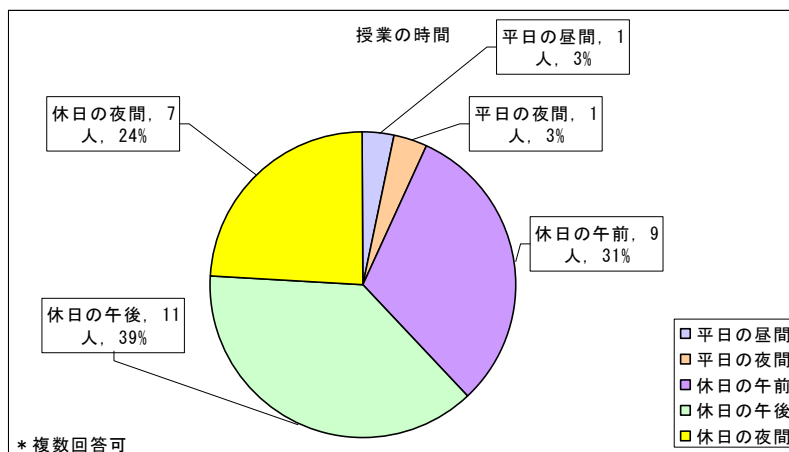


図-12 授業の時間帯

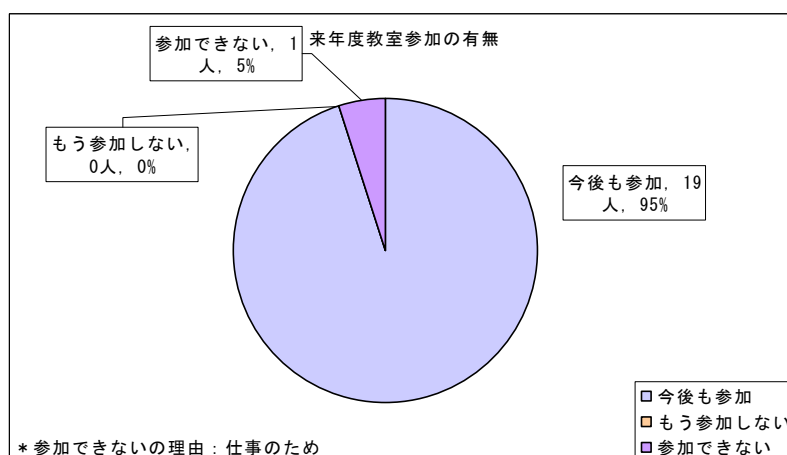


図-13 今後参加の有無

自由記入の要望・意見：

- ・この教室を今後も続けてほしい。ぜひ参加したい。
- ・発音を直してくれてよかった。
- ・対話方式の授業はよかった。
- ・日本語能力試験に挑戦したい。
- ・授業の中で日本人と交流してみたい。
- ・学習の機会をくれた日本政府に感謝する。